

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム
派遣先機関等利用マニュアル

2011 年 8 月 4 日

派遣者氏名（専門分野）	原田走一郎	（ 日本語学 ）
-------------	-------	----------

派遣期間	2011 年 7 月 5 日	～	2011 年 8 月 4 日
------	----------------	---	----------------

派遣研究機関

国	都市	訪問機関
アメリカ合衆国	ボルダー	アメリカ言語学会・コロラド大学ボルダー校

利用マニュアル（利用申請に必要な書類、手続き、リサーチ方法を記入）

・派遣者は、アメリカ言語学会が主催する Linguistic Institute 2011 に参加した。

<http://verbs.colorado.edu/LSA2011/>

・本報告においては、Linguistic Institute への参加の仕方について述べる。

1. 情報収集

アメリカ言語学会に加入するなり、Linguistlist に登録するなりして、開催及び募集についての情報を仕入れる。ちなみに次回はミシガン大学で 2013 年に行われる。

<http://www.umich.edu/~aalsa/lisa2013/Home.html>

2. エントリー

Linguistic Institute に参加するにはアメリカ言語学会への加入が必須である。従って、まずアメリカ言語学会のウェブサイト <http://www.lsadc.org/index.cfm> から学会に登録する。その後、Institute 自体への登録を行う。エントリーはウェブで行う。回ごとに登録方法は異なると思うが、今回はまず指定されたメールアドレスにメールを送って、その返事で ID とパスワードをもらった。これから先は、コロラド大学のシステムを使って、コロラド大学の学生が行うのと同じように履修登録などを行った。

3. ビザの取得

今回、Linguistic Institute の参加者は J-1 ビザの取得を求められた。そのため、登録とは別に、ビザ取得のために必要な書類を申請するための手続きが必要であった。これらはすべてメールでのやり取りで行われた（ビザ申請書類はもちろん郵送で届く）。ビザの取得は非常に時間がかかるため、余裕を持って申し込まなければならない。今回は、締め切りの最低六週間前にすくなくとも「ビザ取得のための書類が必要」ということをコロラド大学に知らせる必要があった。受け入れ先から必要書類が届いたら、アメリカ大使館にビザ申請の申し込みをする。これについてもすぐビザがもらえるわけではないので余裕を持って申請しなければならない。